

星のや竹富島 事務所棟・倉庫棟

ウツグミの島の景観に溶け込んだ 災害にも強い、赤瓦葺き木造施設

竹富島は珊瑚礁の隆起によりできた周囲が約9kmの島。山や川のない痩せた土地で、台風などの自然災害もあることから「ウツグミ」（一致協力）の精神が培われ、豊かな自然環境の中で伝統文化を守り、伝承や信仰を育んできた。

ここに「星のや竹富島」が建てられたのが2012年。約6.2haの敷地に建つ48棟の客室と2棟のスパ棟は、伝統的な寄棟造に赤瓦葺き漆喰仕上げが施されている。今回建設された事務所棟と倉庫棟も「竹富島準景観地区ガイドライン」に沿って計画された。星のやの施工責任者である足立 淳氏は「近年、沖縄でも地震や津波が心配されているため、事務所棟と倉庫棟の計画にあたっては、災害に強い木と鉄の複合梁を用いる「テクノストラクチャー工法」を採用。1棟ごとに構造計算をしている点も評価し、設計・施工は地元で台風や白蟻対策にノウハウのある工務店に任せた。竹富島の景観に溶け込む赤瓦葺き木造建築という条件の中で、災害時にもお客様をサポートするスタッフのための強い施設が整備できた。今後は、もう少し大きな宿泊棟も検討中であり、その際は木造でも広い柱間がとれるこの工法が選択肢の一つになる。今後とも『ウツグミの島に築土』というコンセプトのもと、お客様をもてなしていきたい」と語る。



赤瓦葺き寄棟造の家屋が並ぶ「星のや竹富島」の景観に溶け込んだ事務所棟・倉庫棟。伝統的工法が採用されているため、新築や改修直後の屋根は漆喰加工により白く見えている



事務所棟



倉庫棟

所在地 / 沖縄県八重山郡竹富町
事業主 / 株式会社星野リゾート・マネジメント
設計・施工 / 株式会社前木組
竣工 / 2024年7月
建築工法 / テクノストラクチャー工法



重い瓦を支える、木と鉄の複合梁を用いたテクノストラクチャー工法（建築中の事務所棟）



木造だが広い柱スパンの空間が確保できた、明るい事務室（事務所棟）



休憩室・食事室（事務所棟）



更衣室（事務所棟）



倉庫スペース（倉庫棟）



仮眠室（倉庫棟）

主な納入設備

- 内装ドア
- LED照明器具
- 洗面化粧台
- ミニキッチン